

自然素材のプライベートブランド

Skog
スコグ

アンティーク化粧梁

Old Beam

オールドビーム

施工説明書・取扱説明書

目次

1. メンテナンスについて	1
2. 施工方法	2
室内への取付け方法	2
屋外への取付け方法	3
3. 共通事項	5
4. 施工の際の注意点	6

①メンテナンスについて

オールドビームを長期間ご使用いただくため、施工上および使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

オールドビームは日本の杉材と自然系塗料を使用し、1本1本オーダーメイドで製作しております。
アンティークな木の雰囲気だけでなく、安心・安全な素材で、さまざまな場所にお使いいただけます。
内装・外装ともにお使いいただける商品です。



《安全にお使いいただくために、必ずお守りください》

①日常のお手入れ

- ・基本的に日常のお手入れは必要ありません。
- ・埃などを拭き取る場合は、固く絞った雑巾等で拭き取ってください。

②シミ・色褪せ

- 天然木は、液体が内部に浸透するとシミなどの原因になるため、すぐにふき取る必要があります。
- ・液体(コーヒー、しょう油、水、化学薬品など)をこぼした場合は、すみやかにふき取ってください。
シミの原因になります。
 - ・直接日光があたることで経年で変色をすることがあります。

③屋外での使用

- ・使用している杉材は適切な環境下でご使用いただければ、非常に耐久性のある素材です。
30年程度であれば表面の劣化等はあるにせよ、問題なくご使用いただけると思います。
- ・屋外で使用した場合、必ず色が劣化します。劣化が気になる場合には再度塗装を行ってください。
- ・オールドビームの表面にはウレタンやラッカーなどの塗装をしていないため、そのまま上から塗ることができます。
表面の研磨などは必要ありません。

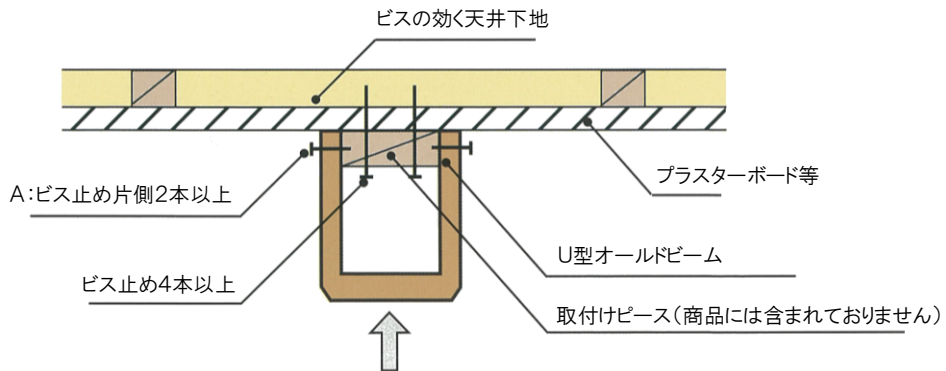
※オールドビームはアンティーク加工を施しているため、上から塗装をすると雰囲気が変わってしまう恐れがあります。
なるべく埃を拭き取るなどの軽微なお手入れをお勧めします。

② 施工方法

オールドビームは施工が簡単に行えます。杉の乾燥材を使用しており、製品重量が軽く簡単に取り付けることが可能です。また、木製品の為加工がし易く、取り扱いやすい素材です。オールドビームは室内・室外ともに使用することができますが、取り付け方法は異なります。以下の取り付け方法をよくお読みの上、正しく施工を行ってください。

室内への取り付け方法

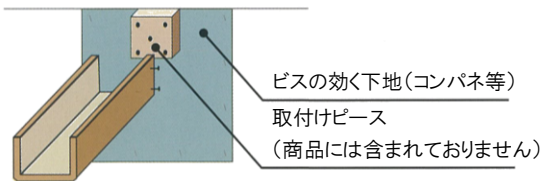
取り付け方法① U型の製品を天井に接して設置する場合
(W150mm、H200mm、厚20mm、L4000mm 程度のサイズを想定)



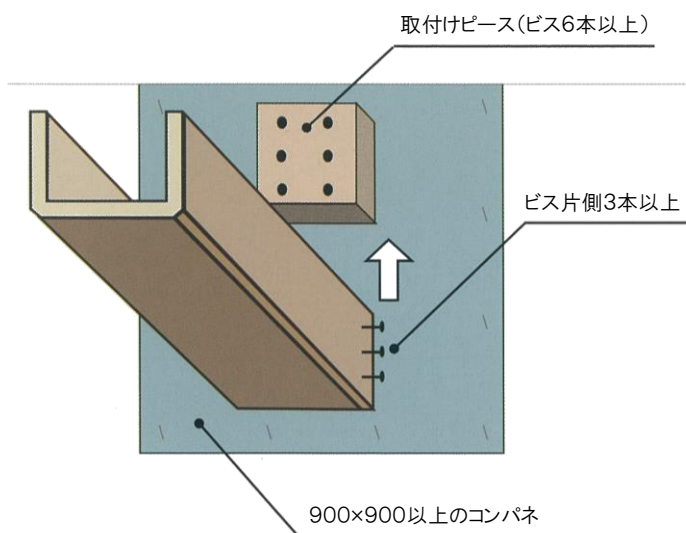
Aのビス打ち時に、少し押圧を掛けると天井に密着します。

- ❶ 取り付けピースは商品に含まれておりません。❷ 両端に取り付けピースを設けるとさらに安定します。

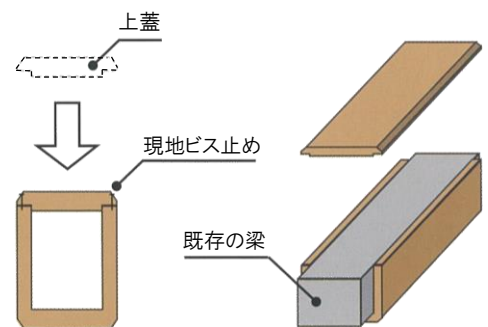
取り付けピースは厚30mm以上、長さは天井下地に安定して取り付け寸法で350mm 内外、ピッチは1500mm 内外が目安です。



取り付け方法② U型の製品を中空の位置に設置する場合
(W150mm、H200mm、厚20mm、L4000mm 程度のサイズを想定)



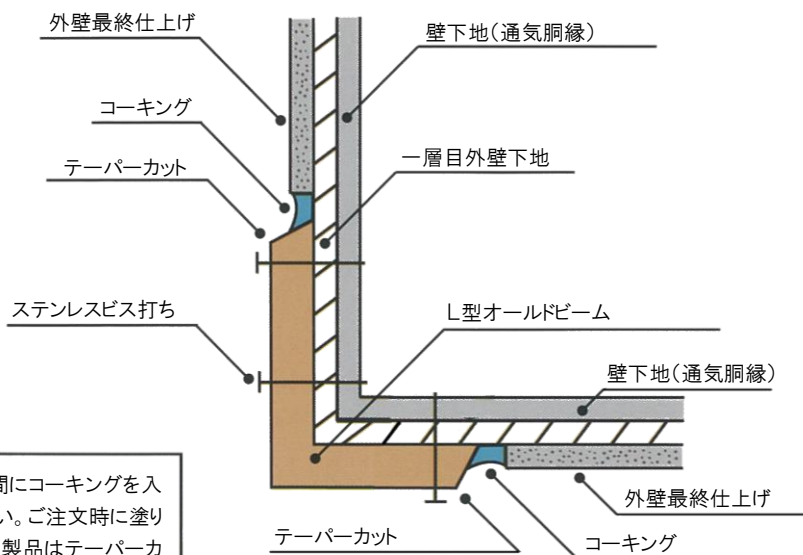
- ❶ 中空で梁の上部が見える場合(吹き抜けなど) 化粧梁の上部が見える場合は、フタ型BOX型を使用することも可能です。上蓋セット(仮止め)した状態でお届けしますので、現地で上蓋を取り外し施工することが可能です。



工場製作時に一体整形で仕上げますので、元の状態で取り付け頂ければ、ほぼ完全な一本の無垢梁に見せることができます。また、既存の梁、柱を囲みたい場合にもフタ型BOXタイプを使用します。

屋外への取付け方法

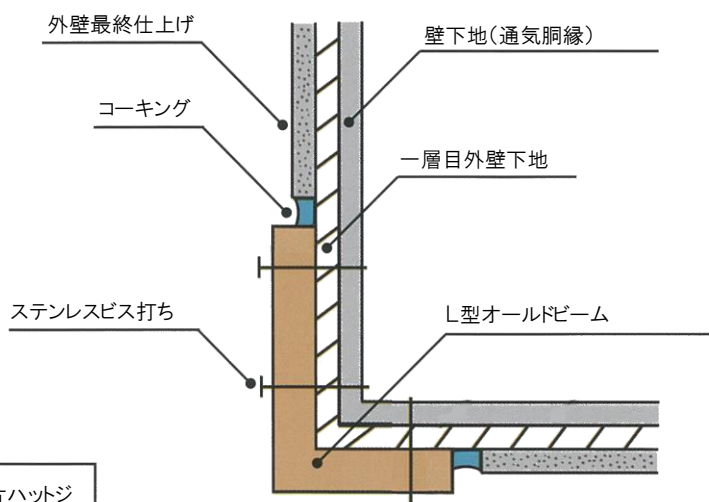
取付け方法③ L型の製品を屋外に設置する場合(塗り壁が仕上げの場合)
(出隅部に設置 ※入隅部も同様の納まりになります)



! テーパーカット

塗り壁が仕上げの場合、オールドビームとの間にコーキングを入れるため、木部の両端をテーパーにしてください。ご注文時に塗り壁で使用することを必ずご連絡ください(通常製品はテーパーカットをしておりません。)塗り壁を施工する前にテーパー部分を養生し、施工後、剥がします。乾燥後、塗り壁とテーパーの隙間にコーキングを施してください。

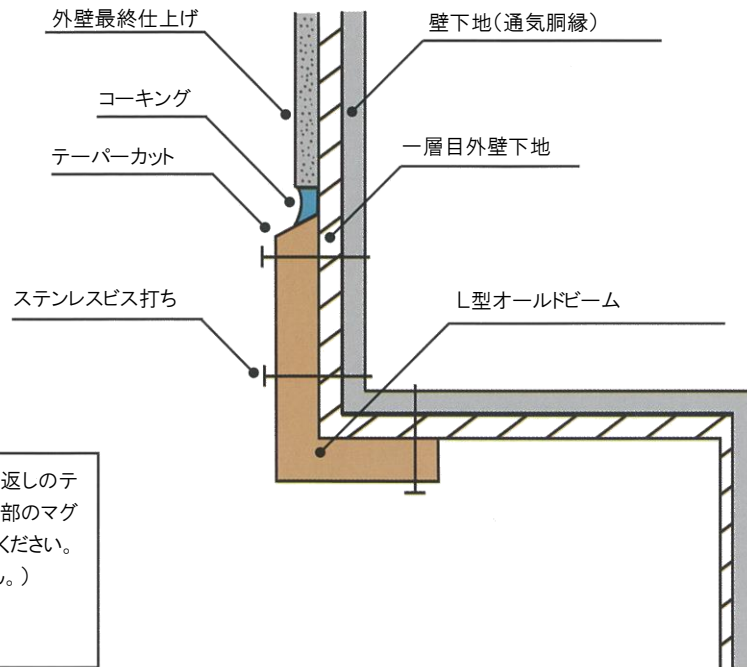
取付け方法④ L型の製品を屋外に設置する場合(塗り壁以外の仕上げの場合)
(出隅部に設置 ※入隅部も同様の納まりになります)



!

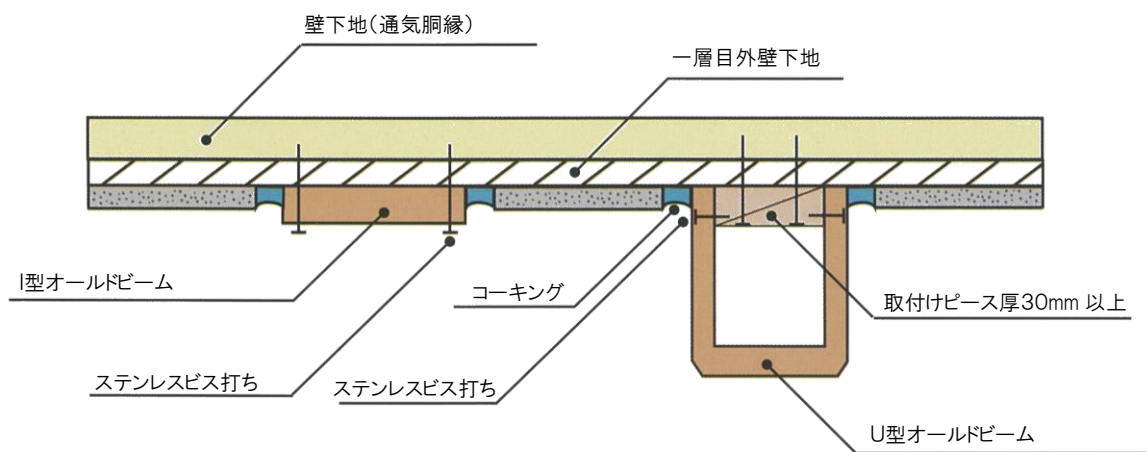
オールドビームと外壁仕上げの取り合い部に片ハットジョイナー等を入れ、コーキングを施してください。
外壁に厚みがなく、ハットジョイナー等が入られない場合は、取付け方法3の取付け方で施工をしてください。

取付け方法⑤ L型の製品を屋外に設置する場合
(玄関等上部のマグサに設置)



! マグサで化粧梁を使用する場合、上部に水返しの手紙を付けて納入致します。ご注文時に外部のマグサで使用すること、取り付け方向を必ずご連絡ください。(通常の製品はテーパーカットをしておりません。)

取付け方法⑥ U型または、I型の製品を屋外に設置する場合



! I型の場合は、必ず両サイドにビス止めしてください。

③ 共通事項

オールドビームの板厚について

①板厚30mmを選択するケース

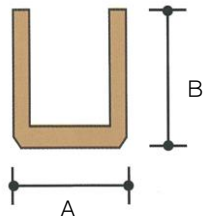
- ・外壁でマグサに用いるケース及び、付け柱として存在感を出したい時
- ・屋内、外によらず大型の製品となる場合(一片の板幅が250mm 以上となるケース)
- ・梁がクロスする場合の大梁に使用する(荷重がかかる場合)

②25mm、20mmを選択するケース

通常一片の板幅が250mm以下の場合、25mm、20mmの板厚で十分です。

(U型、BOX型の場合、外観上板の厚さは無関係であり、厚さが薄いほど軽量の為取扱いも容易になります。)

下記の目安をご参考ください。



・板厚25mmを使用する場合の目安

AまたはB 200~240mm

・板厚20mmを使用する場合の目安

AまたはB ~200mmまで

タッチアップセット(別売り)によるビス跡及びジョイントの補修

ビス穴やちょっとした傷跡など、専用のタッチアップセットにて補修が可能です。



タッチアップペイント
20cc

タッチアップパテ
50cc

手順 1	タッチアップ用パテを水で味噌より少し硬めに練り、補修箇所へヘラ等で埋め込みます。表面は刷毛等を使って雰囲気良く均します。
手順 2	完全に乾燥した後、タッチアップ用ペイントを刷毛塗ります。一度で色が乗らない時は、2度塗りしてください。

④施工の際の注意点

オールドビームを長くご使用いただくためには、シロアリと湿気から守る必要があります。

そのため、地面に近い部分や常に湿気のたまる場所ではご使用いただけません。

雨にぬれても乾燥すれば湿気は出ていくので、外部の壁面などでお使いいただけます。

ただし、小口から水が入らないよう、コーキングを必ず施してください。

木部の裏面に水が入ると乾燥せず湿気がたまってしまい、木を腐らせてしまいます。

また、屋外で使用する場合は湿気の影響で木が動き、反りなども出やすくなります。

施工の際は反りを抑えられるよう、しっかりとビス留め(@900~1000mm)をしておく必要があります。



vol. 2 2016年8月